

カ テ ゴ リ	非 該 当	チェック項目	取組 レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
18	☐	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・ISO14001に基づくマネジメントシステムを運用している ・ながのエコ・サークル「ゴールド」を維持している ・ 【予定】 エコアクション21取得			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	☐	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・自社ホームページにて環境方針と各項目を公開している												12.6					
20	☐	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・地中熱エネルギーを設計に取り入れる ・ 【予定】 グリーン電力の利用促進							7.2						13				
21	☐	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・社内備品のリサイクル製品・グリーン製品の使用。												12.2	13	14	15		
22	☐	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を就業規則に定めて周知している																16 16.5	
23	☐	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・不正競争行為を含む行動規範を整備し、社内会議にて指導している ・営業本部で情報収集と理解に努めている																16	
24	☐	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・知的財産を適切に管理し、保護に努めている								8.2 8.3	9								
25	☐	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・社内会議を通じて情報管理ルールを周知徹底している																16	
26	☐	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・ 【予定】 購入資材におけるサプライチェーンの把握																16	
27	☐	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・ 【予定】 取引先との対話を通じて人権・環境・汚職・ハラスメント防止等の取組みを共有する					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	☐	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・ISO9001マネジメントシステムの運用を通してリスクの洗い出しと対策を実施している			3.9									12.4					
29	☐	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・ISO9001マネジメントシステムの運用を通して品質を保証する仕組みを実施している									9								
30	☐	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・省エネルギー製品・省エネルギーシステムを設計に取り入れる ・適正な施工管理により騒音・産業廃棄物の発生をおさえる						6						12	13	14	15		
31	☐	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・ 【予定】 自然災害における緊急出動態勢の構築	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
32	☐	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地域への工事の説明会、意見交換会の開催と、協議内容の工事関係者への周知徹底を行っている				4					9		11	12		14	15		17
33	☐	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・消防団協力事業所（総務省）の認定を受けている ・毎月1回、自社独自の環境美化運動を本社周辺で行っている ・毎年、恒例の地域公民館主催の公園の草取りに参加している ・地域のお祭り、行事等に参加している				4							11			14	15		17
34	☐	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・【予定】地域の原材料の優先利用									8	9		11	12	13			
35	☐	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・年1回、経営者が経営理念・行動指針・経営目標を社員に説明し共有している									8	9							17
36	☐	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・ISO9001マネジメントシステムの運用を通して行動指針を社員に周知している																16	
37	☐	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・品質安全環境推進本部を設置して役割を明確化している																16	
38	☐	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・お客さまとの接点機会を通じてお客さまのご意見・ご要望を把握し、業務改善・お客さまの住生活改善に努めている																16	17
39	☐	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・ISO9001マネジメントシステムの運用を通してリスク状況を確認・評価を行い、優先順位と具体的な改善策を検討・実施を行している																16	
40	☐	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・社内会議、社内メール等でCSRを常に周知し、責任を持った対応に取り組んでいる																16	
41	☐	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・地震・事故時の事業継続計画（BCP）を策定し、毎年、事故や災害に備えた訓練を実施している ・安否確認システムの運用									9		11		13 13.1			16	
42	☐	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・後継者候補がいる									8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】 ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。） ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。 また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。 （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）
